

飼料用米の生産・利用拡大

【6, 296百万円】

対策のポイント

飼料用米の利用拡大のための保管・加工等に必要な機械のリース整備、配合飼料の供給体制の整備を支援します。

<背景／課題>

- ・畜産物の生産コストに占める飼料費の割合は、酪農及び肉用牛生産で約4割、養豚及び養鶏で約6割となっており、飼料価格、特に濃厚飼料原料の大宗を占める輸入穀物の価格動向は、畜産経営に大きく影響します。
- ・このような中、我が国の畜産・酪農の競争力を強化するためには、増産が見込まれる飼料用米等の国産飼料原料の利用を拡大し、海外の飼料穀物価格の変動の影響を受けにくい国内の飼料基盤に立脚した畜産経営を確立していくことが重要です。

政策目標

飼料自給率の向上

<主な内容>

1. 飼料用米の利用拡大に向けた畜産機械リース事業 5, 938百万円

畜産クラスター計画に位置づけられた地域の中心的な経営体（畜産農家、新規参入者、飼料生産受託組織）が行う飼料用米の保管・加工・給餌等に必要な機械のリース整備を支援します。

補助率：定額（事業実施主体へは1／2）
交付先：（独）農畜産業振興機構
事業実施主体：（独）農畜産業振興機構による公募

2. 配合飼料供給体制整備促進事業 358百万円

（1）国産飼料原料を活用した配合飼料供給体制整備のための支援

国産飼料原料を活用した配合飼料の低コストかつ安定的な供給体制を構築するため、国産飼料原料供給業者や配合飼料工場等が連携し、国産飼料原料の利用拡大や流通・飼料製造コストの低減に資する配合飼料供給体制整備計画の策定や、低コスト流通モデルの普及啓発に向けた取組を支援します。

（2）設備導入等への支援

配合飼料供給整備計画に基づくバラ出荷設備（原料供給側）や受入・保管・加工設備（配合飼料工場側）の導入等を支援します。

補助率：定額、1／2以内、1／3以内
事業実施主体：民間団体

お問い合わせ先：

1の事業	生産局畜産振興課	(03-3502-5993)
2の事業	生産局畜産振興課（畜産側）	(03-3591-6745)
	生産局穀物課（耕種側）	(03-3502-5965)

飼料用米の生産・利用拡大

飼料用米の利用拡大に向けた畜産機械リース事業

畜産クラスター計画に位置づけられた地域の中心的な経営体（畜産農家、新規参入者、飼料生産受託組織）が行う飼料用米の保管・加工・給餌等に必要な機械のリース整備を支援します。（1／2以内補助）



米粉砕機



飼料保管タンク



自動給餌機



混合機

配合飼料供給体制整備促進事業

現 状

- 国産飼料原料は小口の流通が多く、紙袋やフレコンによる輸送が主流。
- 配合飼料工場では、受入にあたり、水分調整等の処理や、少量の副原料用搬入口から受け入れ。



課 題

- 小口で発生する原料を効率よく集荷し・運搬するなど、原料出荷者から配合飼料工場への低コスト出荷・運搬体制の構築により、輸送コストの低減が必要。
- 配合飼料工場での利用拡大に向け、受入、保管、加工設備等の導入により受入体制の強化が必要。

事業
内容

関係者から成る協議会の組織、低コストかつ安定的な供給体制の構築を支援

協議会の主な取組内容

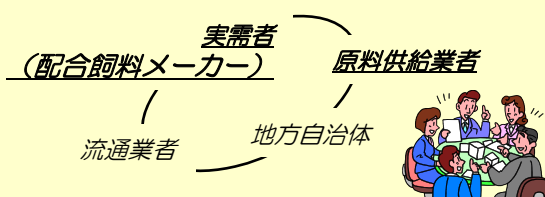
〔設備導入〕

※ 補助率：定額、1/2、1/3

- ① 配合飼料供給体制整備計画の策定
国産飼料原料の供給利用拡大に加え、取組内容に応じ流通コスト低減・飼料製造コスト低減のいずれか又は両方
- ② 整備計画に基づく国産飼料原料の利用拡大、流通コスト低減の取組及び設備の導入
- ③ 取組のとりまとめ・検証、次年産の取組への反映等

協議会の構成（例）

※ 原料供給業者及び実需者の参画は必須



新たな供給モデル創出に向けた設備導入への支援

原料供給段階

- 原料出荷設備（バラ出荷設備）の導入



配合飼料工場段階

- 受入、保管、加工設備の導入



供給モデルを他地域へ波及

国産飼料原料を活用した配合飼料の供給体制を構築し、飼料基盤に立脚した畜産を実現